

第5期雄武町総合計画後期基本計画 施策評価調書（兼政策評価基礎調書）

政策目標	4	うるおい・雄武	整理番号	56
基本施策	15	環境の保全	評価責任者	住民生活課長 淡路至尊
単位施策	3	景観形成・環境美化・公害防止の推進		保健福祉課長 山崎佳之

1 施策の概要

基本方針	魅力的な景観づくりに向けて、環境美化活動や花の景観づくり、不法投棄の監視活動などの取り組みを進めます。また、各種公害や健康被害の未然防止に向け、関係機関と連携しながら、監視・指導を強化します。	
現状と課題	【現状】（平成23年度末）	【現状】（平成26年度末）
	景観を損ねるポイ捨てや悪質投棄などが増加しており、関係機関と連携を密にし、環境美化に取り組んでいる。	悪質な不法投棄等は沈静化しているが、相変わらずポイ捨てなどは後を絶たない現状である。関係団体による国道238号の花植活動が展開されている。
	【課題】（平成23年度末）	【課題】（平成26年度末）
	所有者不在（不明）の廃屋の存在が、魅力的な景観や安全性を阻害しており、行政が関与出来る範囲でのルール作りが必要である。	町の景観等を損ねている所有者不在（不明）の廃屋の調査が必要である。

2 基本施策指標

指標1	指標名	公害発生件数					
	定義等	年間発生件数					
	年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	目標値（H29）
	目標値						0件
	実績値		0件	0件	0件	0件	
指標2	指標名	不法投棄発生件数					
	定義等	年間発生件数					
	年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	目標値（H29）
	目標値						0件
	実績値		0件	1件	1件	1件	
指標3	指標名	町が把握する住民の景観形成・環境美化・公害等監視活動の年間開催回数					
	定義等						
	年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	目標値（H29）
	目標値						4回
	実績値		-	-	1回	4回	
指標4	指標名						
	定義等						
	年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	目標値（H29）
	目標値						
	実績値						
指標5	指標名						
	定義等						
	年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	目標値（H29）
	目標値						
	実績値						
指標6	指標名						
	定義等						
	年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	目標値（H29）
	目標値						
	実績値						
指標7	指標名						
	定義等						
	年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	目標値（H29）
	目標値						
	実績値						

3 単位施策を構成する事務事業の評価結果等

【貢献度の区分 A：高い B：やや高い C：やや低い D：低い E：なし】

No.	事務事業名	担当係名	26年度 決算額 (千円)	総合評価	今後の 展開方向	単位施策 への貢献 度
①	雄武斎場火葬管理等業務委託事業	環境衛生係	1,242	A	継続/現状維持	B
②	雄武斎場車寄せ改修工事	環境衛生係	7,916	A	終了	A
③	戦没者慰霊碑等補修事業	社会福祉係	1,195	A	終了	A
④						
⑤						
⑥						
⑦						
⑧						
⑨						
⑩						
⑪						
⑫						
⑬						
⑭						
⑮						

4 施策の個別評価【A：評価が高い B：やや高い C：やや低い D：低い】

評価の視点	評価結果	理由、説明等
① 妥当性	A	国道238号沿いの花植え・除草等は、町職員団体・自治会・高校等各団体において協働 で取組んでいる。
② 有効性	A	公共施設等の補修や改修を行なうことは、景観形成に寄与している。
③ 効率性	A	公害問題や不法投棄などは、関係機関と協力しながら監視体制の強化を図りながら対応し ている。
④ 公平性	A	景観形成や環境美化は、全ての住民が受益対象である。
⑤ 町民意見の反映	B	自治会長会議や地区別懇談会などで提出される意見や要望は、可能な限り実践するよう努 めている。

5 総合評価【A～D】

A：政策目標の達成に効果的であり、現在の施策を継続することが必要 等

B：政策目標の達成に効果的であるが、具体的な課題の解決に向けて一部取組を改善するなど、施策を充実することが必要 等

C：政策目標がほぼ達成されていることから、施策が一定の役割を終えつつあり、終期を見据えて縮減することが必要 等

D：(1)政策目標の達成に効果的であるが、事業構成が十分ではなく、新たな事業構築など取組を全体的に見直すことが必要 等

(2)政策目標の達成に向けた効果が認められないことから、施策の廃止も含めて抜本的に見直すことが必要 等

自己評価（一次評価）	評価会議評価（二次評価）	町長評価（三次評価）
B	B	
花植えやゴミのボランティア活動など環境 美化に関しては一定の成果を上げている。 一方、町の景観を損ねると思われる廃屋の 調査については、さほど進んでいない。	同 左	

今後の方向性



継続/拡充	継続/拡充	
環境美化に関する啓蒙・啓発活動により一 層取組むとともに今年度施行される「空家 対策特別措置法」に基づき、廃屋に関する 対応を検討していかなければならない。	同 左	

*今後の方向性の区分

○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 ○終了 ○休止 ○廃止